

第158期 事業報告

2022年4月1日～2023年3月31日



SHIONOGI

SHIONOGIグループの 現況に関する事項

2030年Visionと中期経営計画 STS2030

2030年Vision

新たなプラットフォームで
ヘルスケアの未来を創り出す

2030年Visionを達成するための戦略

STS2030

- Shionogi Transformation Strategy 2030 -

STS2030

STS Phase1 ('20-'24)

STS Phase2 ('25-)

中期経営計画STS2030のKPIに対する2022年度の成果

	KPI	FY2019 (実績)	FY2020 (実績)	FY2022 (目標)	FY2022 (実績)	
成長性指標	売上収益	3,334億円	2,972億円	4,000億円	4,267億円	達成
	コア営業利益*1	1,274億円	940億円	1,200億円	1,585億円	達成
	コア営業利益率	38.2%	31.6%	30%以上	37.1%	達成
	海外売上高比率 (ロイヤリティー収入を除く)	18.5%	16.2%	25%以上	16.9%	未達
	自社創薬比率	67%	71%	60%以上	61%	達成
株主還元指標	EPS*2	395.71円	365.03円	370円以上	621.31円	達成
	DOE*3	4.0%	4.1%	4%以上	3.9% (予定)	未達
	ROE*4	15.5%	13.9%	13%以上	17.8%	達成

*1 コア営業利益: 営業利益から、非経常的な項目（減損損失、有形固定資産売却益等）を調整した利益

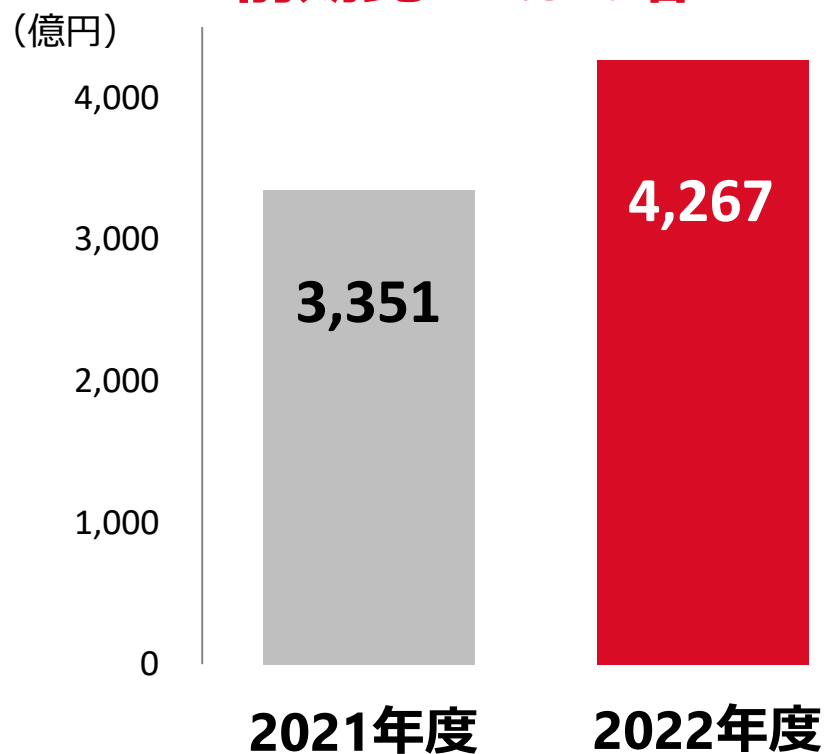
*2 EPS: 基本的 1株当たり当期利益 *3 DOE: 親会社所有者帰属持分配当率 *4 ROE: 親会社所有者帰属持分当期利益率

事業の経過 及びその成果

① 連結業績 - 売上収益 -

売上収益

前期比 27.3%増



売上収益 内訳

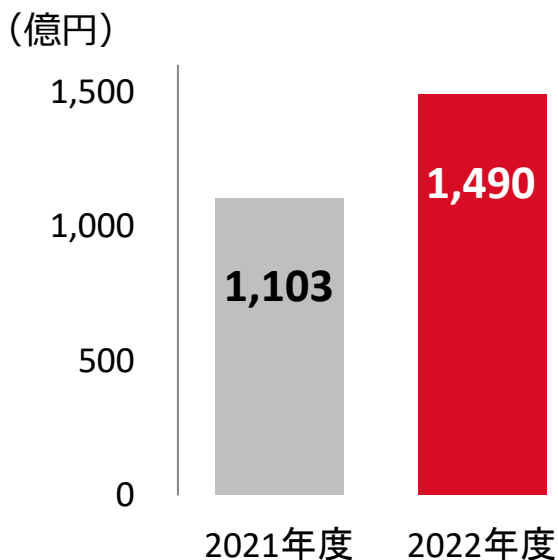
(億円)

	2021年度	2022年度		
	実績	実績	前期比	
国内医療用医薬品 計	891	1,797	101.7%	↑
国内医療用医薬品	891	750	△15.8%	↓
COVID-19関連製品	—	1,047		↑
海外子会社/輸出	344	425	23.7%	↑
製造受託	174	153	△12.0%	↓
一般用医薬品	112	131	17.7%	↑
ロイヤリティー収入	1,813	1,747	△3.6%	↓

① 連結業績 - 各種利益 -

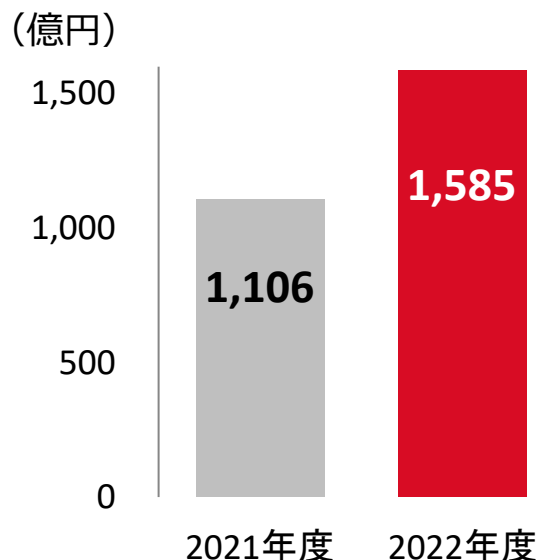
営業利益

前期比 35.1%増



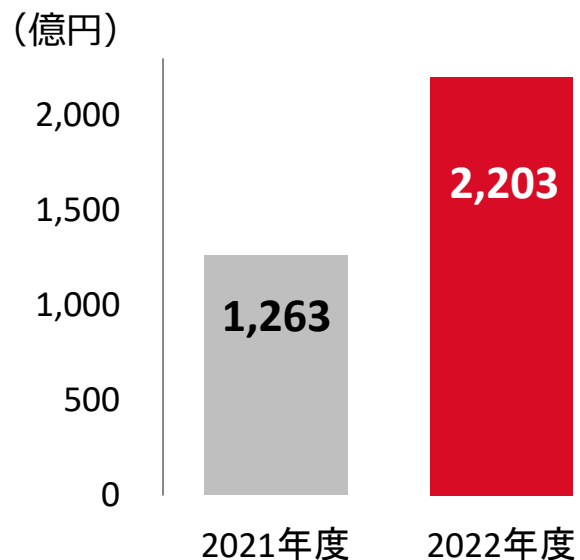
コア営業利益

前期比 43.3%増



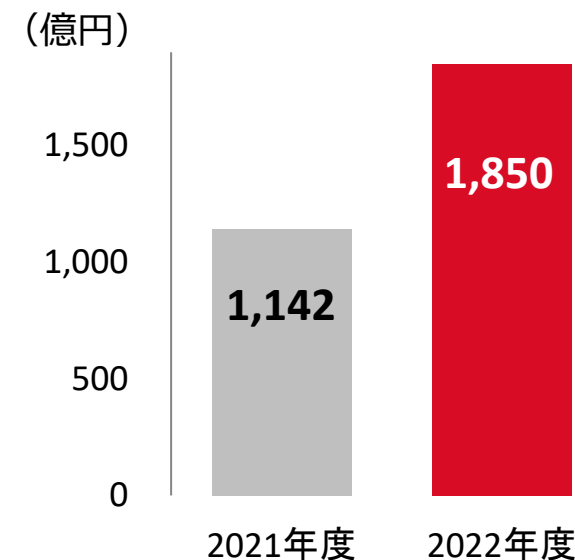
税引前利益

前期比 74.5%増



親会社の所有者に帰属する 当期利益

前期比 62.0%増



売上収益および全ての利益項目で創業来の過去最高業績を更新

① 連結業績 - 資産等 -

- 安定的な財務基盤を維持
- 中長期的な企業価値向上に向けた取り組みが進捗

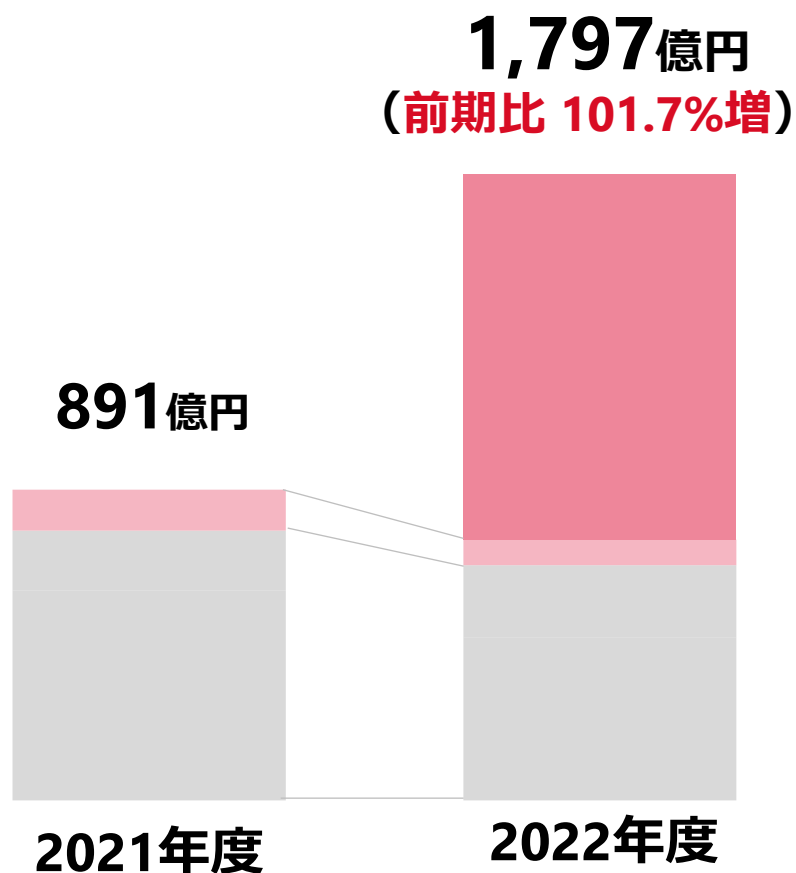
連結財政状態計算書項目

(億円)

	2021年度	2022年度	前期比 (%)
資産合計	11,506	13,118	14.0%増
資本合計	9,933	11,219	12.9%増
負債合計	1,573	1,899	20.7%増

② 国内事業

COVID-19治療薬ゾコーバの緊急承認取得により国内医療用医薬品の売上増



■ COVID-19治療薬ゾコーバの売上：1,047億円

- ・ 日本政府の買取による売上：1,000億円
- ・ 一般流通移行後の売上：47億円

■ 感染症薬の売上減：前期比 37.2 %減

- ・ インフルエンザファミリー（ゾフルーザ、ラピアクタ）の返品

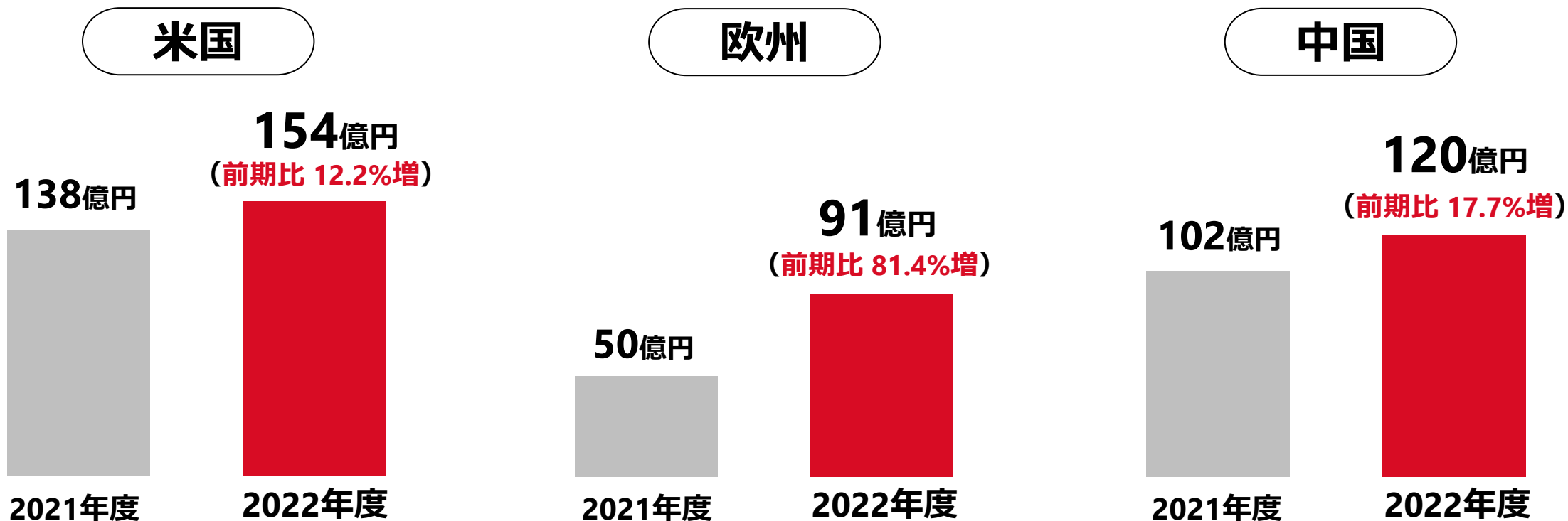
■ その他の製品の売上減：前期比12.5%減

- ・ サインバルタ（前年比 65.8%減）
- ・ スインプロイク（前年比 28.1%増）
- ・ インチュニブ（前期比 17.0%増）
- ・ ビバンセ（前期比 81.2%増）ほか

③ 海外事業

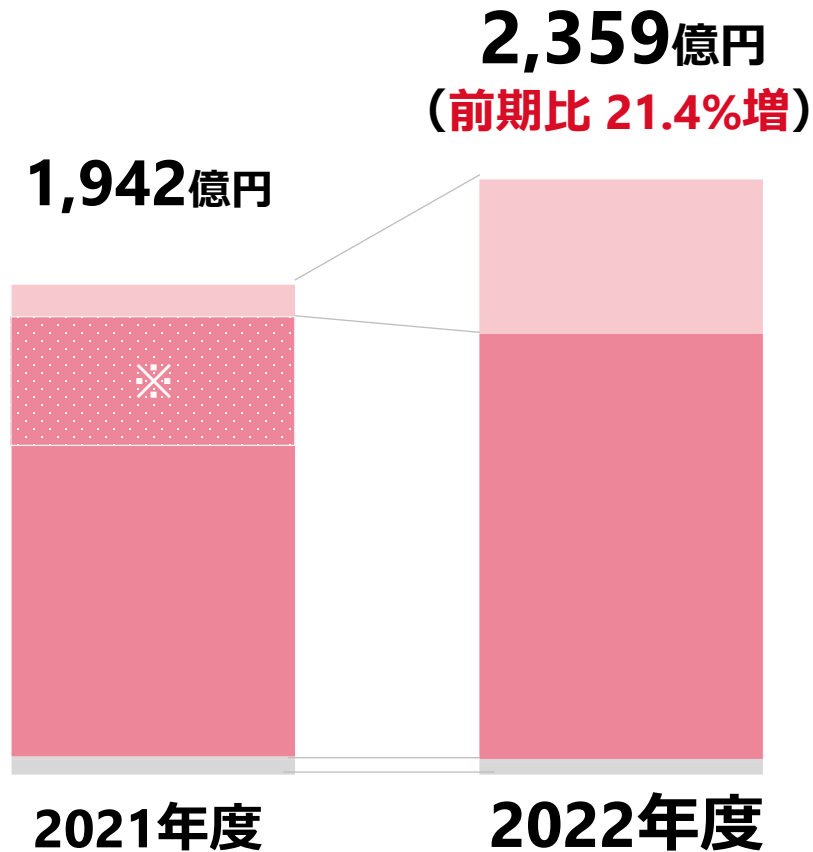
- 米国、欧州：セフィデロコル(Fetroja/Fetcroja)*の価値最大化
- 中国：エンシトレルビルを軸とした新たなビジネスモデル構築に向けた進展

■ 海外子会社の売上収益



④ ロイヤリティー及びヴィーブ社からの配当金収入

HIVフランチャイズに関する堅調なロイヤリティー及び配当金収入を受領



ヴィーブ社からのHIVフランチャイズに関する
ロイヤリティーおよび配当金

■ ロイヤリティー収入 (前期比 3.2%減)

(※) ギリアド社に対する特許侵害訴訟の和解に伴う一過性収入 (昨年度)

■ 配当金収入 (前期比 370.8%増)

■ その他のロイヤリティー収入

⑤ 研究開発-主な研究開発の進捗 -

COVID-19関連プロジェクトで培ったスピードを活かし 成長ドライバーの研究・開発を加速

疾患領域		プロジェクト	対象疾患	2021年度	2022年度	
感染症領域		Olorofim	侵襲性アスペルギルス症		Phase 3	●
	★	S-337395	RSウイルス感染症	非臨床試験	Phase 1	
	★	S-892216	COVID-19	探索ステージ	Phase 1	
精神・神経・疼痛		Resiniferatoxin	変形性膝関節症		Phase 3	
	★	S-151128	慢性疼痛	非臨床試験	Phase 1	
新たな成長領域	★	S-309309	肥満症	Phase 1	Phase 2	●
		レダセムチド	栄養障害型表皮水疱症	Phase 2	追加Phase 2	
			急性期脳梗塞	Phase 2	Phase 2b	●

COVID-19に対する取り組み

COVID-19治療薬：ゾコーバ（エンシトレルビル）

- **国内における緊急承認取得**
 - 誰もが早期診断・早期治療を受けられる社会への貢献
 - 様々なエビデンスの集積
- **グローバル展開に向けた取り組み**
 - 韓国：承認申請（2023年1月）
 - 台湾：承認申請（2023年4月）
 - 中国：承認申請準備中
 - 欧米：グローバルPhase 3試験の実施
- **ライフサイクルマネジメント**
 - 小児、予防投与試験開始に向けた準備

COVID-19ワクチン：S-268019

- **国内での実用化に向けて当局と連携**
 - 国内製造販売承認申請
 - 組み換えタンパクワクチンの国内供給に向けた準備を加速
- **ライフサイクルマネジメント**
 - 青年、学童、成人追加免疫（4回目接種）
 - オミクロン株対応
 - WHOの緊急使用リスト掲載に向け、関心表明（EoI*）が受理

⑥ 生産、サプライチェーン

COVID-19関連製品の生産とグローバル展開の加速に向けた サプライチェーンの構築

COVID-19関連製品の生産

- **COVID-19治療薬ゾコーバ**
 - 日本国内で最大1,000万人分/年の生産体制の構築
 - 日本政府への200万人分の供給
- **COVID-19ワクチン**
 - 組み換えタンパクワクチン生産体制の構築

グローバルサプライチェーンの 構築に向けた取り組み

- **エンシトレルビルの現地生産体制構築**
 - 中国：年間2,000万人以上/年
 - 米国：生産体制構築中
- **セフィデロコル**
 - グローバルに安定供給できる体制整備

対処すべき課題

新たなプラットフォームで ヘルスケアの未来を創り出す

SHIONOGI Group Vision (2030年Vision)

- 2030年にSHIONOGIが成し遂げたいこと -

2030年Visionを実現したSHIONOGIの姿

- **革新的なヘルスケア製品・サービスを継続的に創出し、グローバルにビジネスを展開している**
 - ビジネスモデルの拡大
 - 高利益率を維持し、パテントクリフを乗り越えて成長
- **社会課題解決に挑戦し続け、顧客や社会に貢献している**
 - 感染症の脅威からの解放、QOLの向上、健康寿命の延伸、サステイナブルな社会保障への貢献、SDGsへの貢献
- **専門性・人間性を休むことなく成長させているエクセレントビジネスパーソンが、それぞれの強みを活かし、新しい価値を生み出している**

STS Phase1の振り返り：STS Phase1の主な成果と変革に向けた課題

STS Phase1の主な成果

- 主要KPIの達成
- 自社創製品の拡大
- 医療用医薬品以外の製品やサービスの開始
- ガバナンスの強化

変革に向けた課題

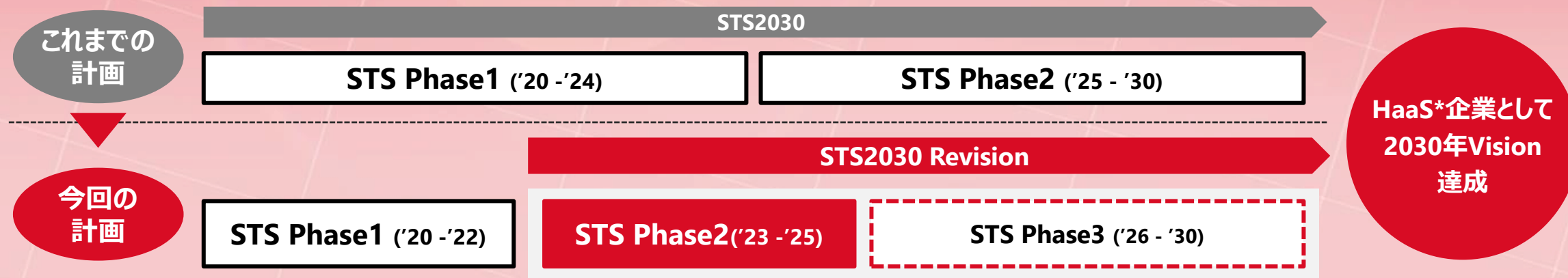
- 販売力の強化
 - グローバルに届ける力
- パイプラインの強化
 - アンメットニーズへの投資
- 会社基盤の強化
 - ビジネススピード向上、人材強化

STS2030を改訂した戦略：STS2030 Revision

2030年Vision実現への道筋をより明確にした新たな戦略

STS2030 Revision

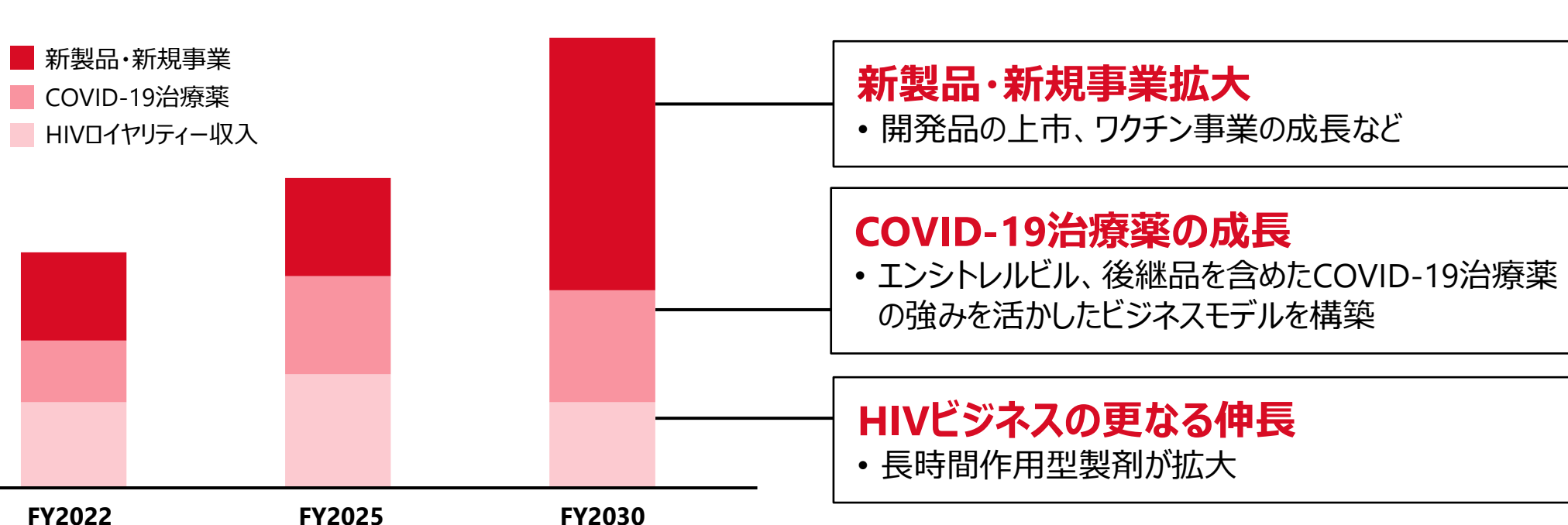
- Shionogi Transformation Strategy 2030 Revision -



STS2030 Revisionの3つの柱

- HIV関連製品の上振れ
- エンシトレルビルを中心に成長（STS Phase2：2023-25）
- 積極投資（R&D、事業投資）による2030年Vision実現に向けた成長（～2030）

売上収益



STS2030 Revisionにおける達成すべき6つの経営指標

	STS Phase1	STS Phase2		STS Phase3	
	FY2022	FY2023	FY2025	FY2030	
成長性指標	売上収益	4,267億円	4,500億円	5,500億円	8,000億円
	海外売上高 CAGR*1 (ロイヤリティ収入を除く)	—	—	50% FY2022を起点とする	15% FY2025を起点とする
	EBITDA*2	1,779億円	1,670億円	2,000億円	—
株主還元指標	EPS*3	621.31円	530円以上	600円以上	—
	DOE*4	3.9% (予定)	4.0%	4%	—
	ROE*5	17.8%	13.5%以上	14%以上	—

*1 CAGR (Compound Annual Growth Rate : 年平均成長率)

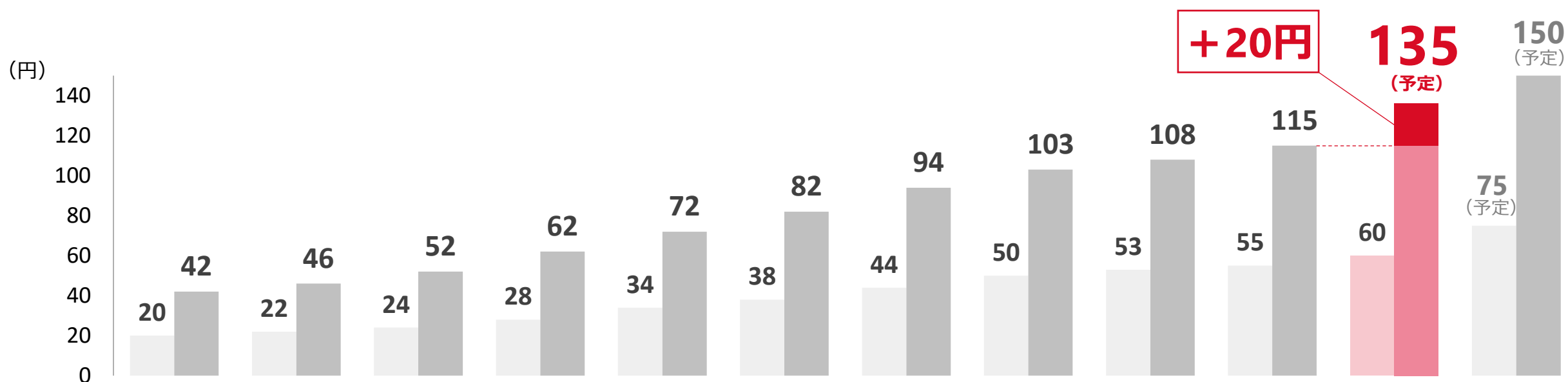
*2 EBITDA (Earnings Before Interest, Taxes, Depreciation, and Amortization : 利払い・税引き・償却前利益)

*3 EPS: 基本的1株当たり当期利益 *4 DOE: 親会社所有者帰属持分分配当率 *5 ROE: 親会社所有者帰属持分当期利益率

配当方針

成長をともに実感していただける株主還元政策

年間で過去最大の増配（+20円）とし、11期連続の増配を予定



年度	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
取得額	-	-	300億円	-	350億円	294億円	500億円	500億円	500億円	-	494億円	-
消却数	-	-	-	-	2,200万株	500万株	735万株	520万株*	-	-	420万株	-

将来の見通しに関する注意事項

- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論・結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保険関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 承認済みの製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項により、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- 本資料は国内外を問わず、投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。
- 本資料の利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。